

① どうやって水を流そう (5歳児 7月)

園庭での水遊びで使える道具を作ろうと本を調べました。本に載っているものを作ろうと、牛乳パックにストローを挿し、水が出てくる仕組みを作ってみました。曲がるストローの向きを変えて水が出る方向を変えたり、牛乳パックを重ねて次々に水が流れるようにしたりして遊びました。水をためてから放水することを考え楽しむ様子も見られました。

6 思考力の芽生え
2 自立心

牛乳パックシャワー

きれいな滝
ができる

下で受
けよう

受けて
また入れ
よう

ストロー
こっちに
曲げて

ふたをしてから
水を入れて

開けると
いっぱい
出る

次は

高く積んで
水を流すよ

支えるね

きれいな
色水できた

不思議さや面白さを感じる心
を大切に

牛乳パックに挿したストローから水が出てくる様子を楽しみました。子どもの思考を実現するために、挑戦を促し、道具の準備などの援助をしていきました。

「きれい」「たくさんのお水を出したい」「高い所から連続して流したい」「ずっと回転するようにしたい」「きれいな色水のシャワーにしたい」など子どもたちの思いを認め、遊びを見守りました。思ったようにならなかった時には、「どうしたらいいかな」と言葉を投げかけ、試したり、確かめたりし、次の展開を促すようにしました。実際に体験するからこそ分かったり、学んだり、遊びが広がり深まるように心がけました。

回転する牛乳パックシャワー

クルクル回って
水が出る

あれ
回らん

どうしたら
いいかな

でも、すぐ(水
が)無くなる

あっ
そうだ

ペットボトルごと
入れれば

きっと色水の回る
シャワーになるよ

わたしも
したい

遊ぶ中で、子どもが発見したり、不思議に思ったりするとすぐに確かめたり、試したりしました。回転する牛乳パックのシャワーでは、長く水が落ち続け回り続けるように試したり、色の水がくるくる出るようにしてみたりして、自分たちで考えて遊びました。